

# 第 1 章 秋田県のすがた

## 第 1 節 地勢・沿革

### 1 地 勢

本県は、首都東京のほぼ真北約450kmの日本海沿岸にあって面積11,637.5km<sup>2</sup>(全国第6位)、13市9町3村に区分されています。

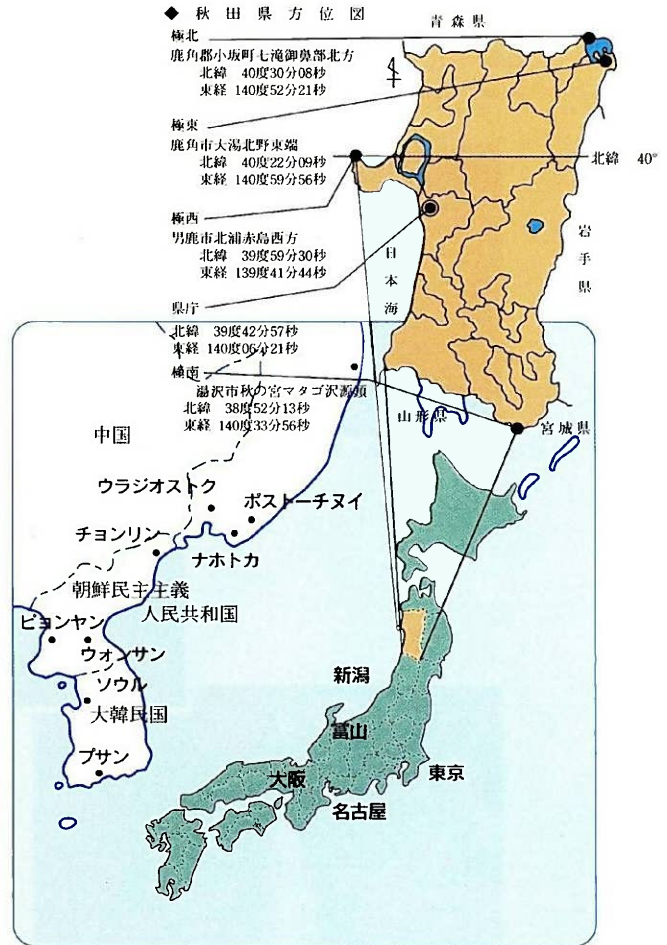
県北には、鷹巣、大館、花輪の諸盆地、県南には横手盆地などがあり、また雄物川、米代川、子吉川などの河川に沿って肥沃な耕地が展開し、その下流には秋田、能代、本荘の各平野が開け、多くの都市が発展しています。

### 2 沿 革

秋田の地名が歴史に現れたのは、斉明4年(西暦658年)、阿部比羅夫が蝦夷を支配下に置いたときと伝えられています。

関ヶ原合戦後の慶長7年(西暦1602年)佐竹義宣が常陸より国替を命ぜられ、秋田6郡20万石の領主となりました。その後、明治維新までの約260年間の間に、鉱山の開発や新田の開拓など、産業経済の礎を築いてきました。

明治4年の廃藩置県により秋田県が誕生して以来、多くの人々が郷土の発展に力を尽くし、今日の秋田が築かれてきました。



年 月 日	羽 後 国	陸 中 国
明治2年まで	秋 山 河 仙 平 雄 田 本 辺 北 鹿 勝 郡 郡 郡 郡 郡 郡	由 鹿 利 角 郡 郡 ↓ 南 部 領 ↓ 南 部 藩
	久 保 田 領 → 久 保 田 藩	亀 本 矢 仁 田 莊 島 賀 領 領 領 領 ↓ ↓ ↓ ↓ 亀 本 矢 酒 (民政 田 莊 島 田 政局 藩 藩 藩 藩)
明治3年2月24日	岩崎藩(雄勝郡東部)立藩	
明治4年1月13日	久保田藩を秋田藩と改称	
明治4年7月14日	秋 田 県	岩 亀 本 矢 酒 江 崎 田 本 莊 島 田 刺 県 県 県 県 県 県
明治4年11月2日	秋 田 県	岩崎県、亀田県、本荘県、矢島県、酒田県の一部(旧仁賀保領)及び江刺県のうちいまの鹿角市、鹿角郡を編入した。
平成18年3月27日	平成16年度～17年度 市町村合併 「9市50町10村」から「13市9町3村」となった(詳細はP4)。	

## 第2節 自然・気象

### 1 自然

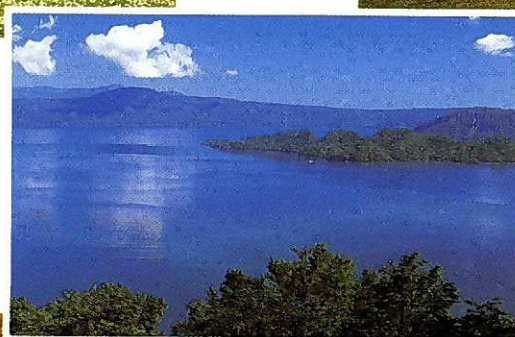
本県は、全国で6番目という広い面積を持ち、春の新緑、夏の空と海の青さ、秋の紅葉、冬の雪色といった色彩感あふれる四季の変化に富んだ自然を誇り、その息吹を身近に感じながら生活することができます。



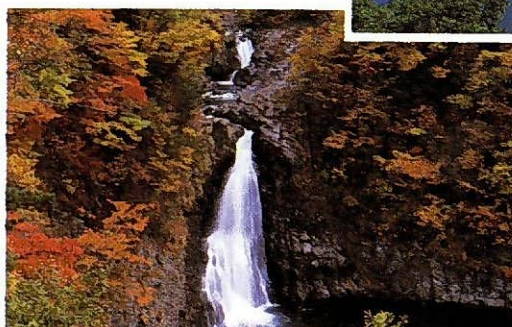
駒ヶ岳とチングルマ



入道崎



十和田湖



法体の滝



樹氷の八幡平

### 2 気候

本県の気候は、概ね出羽山地により海岸部と内陸部の2つに区分されます。海岸部は全般的に馬海流の影響を受けてしのぎやすく、冬期間でも積雪は少なめです。

内陸部は夏には比較的高温となり、冬は寒さが厳しく積雪も多くなります。県の面積のほぼ半分が特別豪雪地帯となっています。

全般に長い冬と短い夏が特徴で、四季の変化がはっきりしています。

	秋田	札幌	仙台	東京
最低気温(°C)	-6.7	-14.9	-4.7	-2.1
最高気温(°C)	36.1	34.3	35.5	37.3
年平均気温(°C)	12.8 ( 11.8)	10.0	13.7	16.5
年間日照時間(h)	1,535.7 (1,526.0)	1,764.3	1,797.2	1,889.5
年降水量(mm)	2,022.5 (1,686.2)	905.0	1,247.0	1,590.0
降水日数(日)	192 (172.3)	151	99	108
雪日数(日)	36 ( 85.5)	118	41	6
最深積雪(cm)	24 ( 38 )	80	6	1

※資料：気象庁HP「令和2年気象データ」

※秋田の( )書きは平年値(1981～2010の30年間の平均)

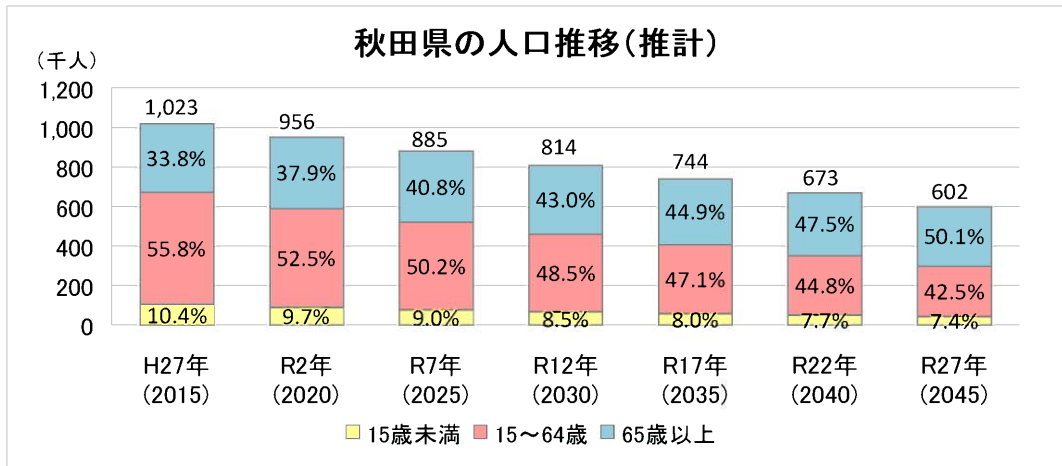
## 第3節 人口・産業構造・面積

### 1 人口

本県の人口は、令和3年4月1日現在で94万2,514人と、平成29年4月に100万人を割り込んで以来、減少傾向が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、本県の人口は、令和27(2045)年に60.2万人となり、2015年比の減少率は全国で最大の41.2%と推計しています。

また、本県の65歳以上の人口が占める2045年の高齢化率は全国で最も高い50.1%で、0～14歳の年少人口の割合は全国最低の7.4%と推計され、本県の人口減少と少子高齢化が、今後、一層進むものと予想されています。



※資料：「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

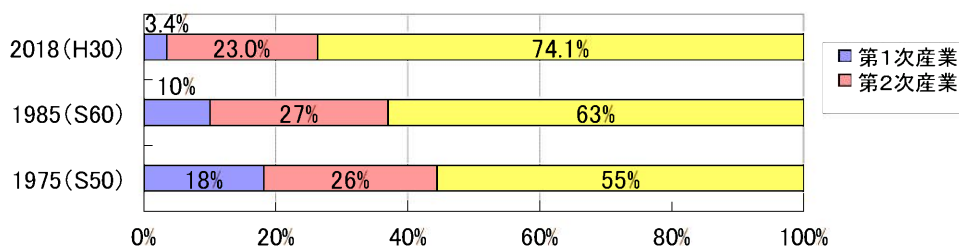
### 2 経済・産業構造

平成30年度の本県の経済規模を示す県内総生産は、名目で3兆5,206億円、物価変動の影響を除いた実質では3兆4,046億円となっています。

県内総生産を経済活動の種類別にみると、平成29年度と比較し、農業、建設業、通信・放送業などで増加した一方、林業や製造業、小売業などでは減少し、全体で第1次、第3次産業では増加したものの、第2次産業は減少しています。

区分	H29年度	H30年度	対前年度比較		
			金額	率(%)	
秋田県	県内総生産(名目)	35,683(億円)	35,206(億円)	-477(億円)	-1.3
	県内総生産(実質)	34,498(億円)	34,046(億円)	-452(億円)	-1.3
	県民所得	26,913(億円)	26,460(億円)	-453(億円)	-1.7
	1人当たり県民所得	2,703(千円)	2,697(千円)	-6(千円)	-0.2
全国	国内総生産(名目)	5,475,860(億円)	5,483,670(億円)	7,810(億円)	0.1
	国内総生産(実質)	5,320,204(億円)	5,336,679(億円)	16,475(億円)	0.3
	国民所得	4,008,779(億円)	4,042,622(億円)	33,843(億円)	0.8
	1人当たり国民所得	3,164(千円)	3,197(千円)	33(千円)	1.0

【県内総生産の産業別構成比】



※資料：「平成30年度秋田県県民経済計算」(秋田県)

### 3 面積

本県の総面積は約11,637.5km<sup>2</sup>、全国第6位で、東京都、埼玉県、千葉県の合計を上回ります。また、比較的大きかった各市町村の面積規模が、市町村合併によりさらに大きくなり、由利本荘市と北秋田市の合計だけで東京都や沖縄県を上回り、神奈川県にほぼ等しい面積になります。

#### ◆秋田県市町村区域図

